

新潟県

# 公民館月報 8

平成 8 年 8 月号 通巻第 522 号

## 特集 家庭教育学級（講座） 開設のツボどころ

- 視 点 新潟県の日本一  
ひろ ば 「煮しめ」の教訓  
実践記録 集落を結ぶ「花街道」づくり  
サークル交流 水彩画教室（三条市）  
バッチワーク研修会（川口町）  
素顔拝見 小浦絹代（栃尾市）  
大野敏宏（妙高高原町）

表紙 魚野川鮎釣り解禁

# 第47回新潟県公民館大会開催

## 公民館誕生五〇年記念大会

# 杜々の森からの発信

## 事業の最大関心は「地域づくり」

七月二十六日(金) 第四十七回新潟県公民館大会兼第四十四回中越地区公民館研究大会が、栃尾市民会館を会場に盛大に開催された。公民館誕生五十年を記念する意義ある年で

あつたことに加えて、史的・文化的に豊かな風土の栃尾市が会場だったこともあって、参加者七百五十余名という多数の参加者で、ホールは立錫の余地のない盛況だった。

大会テーマ「生涯学習社会をめざした公民館の役割」について、スライドによる公民館五十年の歩みを振り返り、その成果と課題を取り上げて問題提起とし、パネルディスカッション方式により、パネリストだけでなしに参加者全員で考えようという異色の大会であった。終始白熱した研究討議が展開され記念大会にふさわしい集会だった。

午前九時三十分、定刻通り開会。佐々木志津子氏(見附市今町公民館長)の流暢な総合同会によって開会式の幕がきつて落とされた。

武樋清徳中越地区公連会長の開会宣言、今井昭友会長による主催者挨拶、野本憲雄県教育次長の共催挨拶に続いて表彰式に移る。優良公民館表彰は、長岡市栖吉公民館に、永年勤続表彰は十二名(氏名既報)が受賞した。なお、受賞者を代表して栃尾市公民館半蔵金分館長石丸金次氏が謝辞を述べた。

続いて来賓の祝辞に移り、栃尾市助役齋藤礼次氏の歓迎の挨拶、新潟県公民館振興市町村長連盟会長近寅彦氏(新発田市長)の来賓祝辞で開会式を終了。

研究大会に移り、最初に基調提案の第一部スライドによる公民館誕生五十年の歩みを振り返った。続いて第二部として、北村弘文氏(見附市中央公民館長)による問題提起がなされた。その後、二時間にわたるパネ

ルディスカッションが繰り広げられた。ちなみに登壇したパネリストは次の方々であった。(敬称略)  
コーディネーター  
桑原昭三(堀之内町公連審長)  
羽鳥昌治(小千谷市公民館長)  
鳴原陽子(川西町公民館係長)  
久住裕一(見附市今町公連審)  
佐藤織江(栃尾市利用者代表)

パネルディスカッションに取り上げられた要点は、参加者の最大関心事が「地域づくり」にあったことから、「地域づくり」の捉え方が掘り下げられた。次いで、公民館は現状のまま生涯学習社会構築の中核機能たりうるのか?に論議が集まり活発な意見が飛び交った。

三時からの閉会式では、来年度の主管公連(村上市・岩船郡公連)を代表して、村上市中央公民館長鈴木敏夫氏が、今大会実行委員長栃尾市公民館長今井十志崇氏から公民館旗を引き継ぐとともに、来年は村上市民ふれあいセンターを会場に、七月二十五日開催予定につき多数の参加者を期待する旨の挨拶があった。

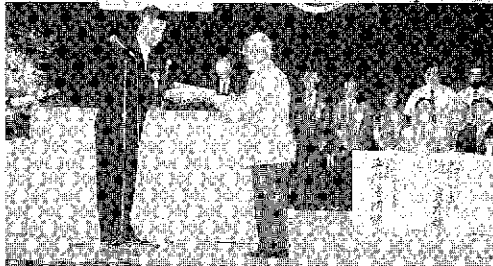
最後に中越地区公連副会長長茂木三千夫氏(湯沢町公民館長)の「来年は村上市で会いましょう」の力強い閉会宣言ですべての行事を終了した。



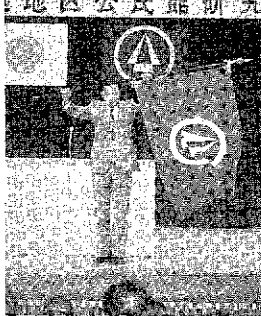
挨拶する今井会長



パネル・ディスカッション



受賞中の石丸金次氏



公民館旗の引き継ぎ

新潟県公民館振興市町村長連盟

定例総会終る

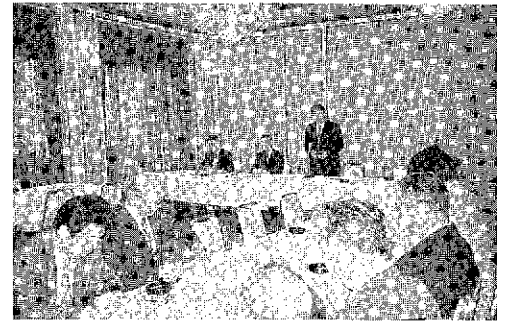
去る七月五日(金)、平成八年度新潟県公民館振興市町村長連盟総会が、新潟市白山会館で開催された。出席者五十八名、来賓に県教育長平野清明氏、本会会長今井昭友氏をお迎えして定刻どおり開会した。

開会の挨拶で、会長近寅彦氏(新発田市長)は「民主主義の旗手として五十年目の節目の年を迎えた公民館が、これからの

生涯学習に向けて一層活躍するよう支援しよう」と挨拶。

続いて、県教育長は祝辞で、「公民館が魅力ある活動をするためには多量の生涯学習情報が必要である。県では今年四月から学習情報提供システム(テラ・ネット)を稼働させたので、

おいに加入活用してほしい」との挨拶があった。



視点

かつての日本一と付け加えられた。札幌オリピックの会場を飾ったスズランの花が新潟県産とはあまり知られていない。自殺率が日本一で、離婚率が日本一低いといってもあまり深刻に思う人は少ない。最近是不登校率も

新潟県の日本一

真壁芳郎

練校への進学、またカルチャー通いが、日本でもトップクラスだという。小さいときは学校嫌いで、学問よりも働くことが好き。人間関係にもじっと耐え、子育てが終わり、定年

かつての日本一と付け加えられた。札幌オリピックの会場を飾ったスズランの花が新潟県産とはあまり知られていない。自殺率が日本一で、離婚率が日本一低いといってもあまり深刻に思う人は少ない。最近是不登校率も

練校への進学、またカルチャー通いが、日本でもトップクラスだという。小さいときは学校嫌いで、学問よりも働くことが好き。人間関係にもじっと耐え、子育てが終わり、定年

練校への進学、またカルチャー通いが、日本でもトップクラスだという。小さいときは学校嫌いで、学問よりも働くことが好き。人間関係にもじっと耐え、子育てが終わり、定年

練校への進学、またカルチャー通いが、日本でもトップクラスだという。小さいときは学校嫌いで、学問よりも働くことが好き。人間関係にもじっと耐え、子育てが終わり、定年

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

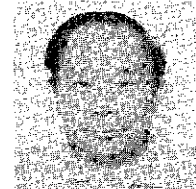
命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

命を落とす。自殺は長

「煮しめ」の教訓

高橋一夫



私は公民館のお手伝いを昭和六十年からはじめました。そして、

常々思うことは、お年寄りを、九月十五日の敬老の日に招待すると、昔の苦勞を忘れて笑顔で喜んで集まって下さる方々です。しかし、その日を過ぎると、お年寄りを忘れてしまう現状です。そこで、公民館の活動として何かできないものかと考えました。そして、毎月十五日を「敬老の集い」と名付けて地域の六十五歳以上の方々に呼び掛けることにしました。

第一回の集いの出席者は三二名と少数でしたが、催物として写真会を行い、「おばあちゃんがんばって」愛されるお年寄りに」の二本の映画を映写しました。映画をみながら目頭を押さえている顔が、暗い中でたくさん見かけたときなぜか胸が熱くなりました。そして、この感動を公民館活動のなかにもっと活かしたいと思いました。また、「敬老の集い」を始めた

ひるば

当初は、弁当は各自で持参してもらい、味噌汁だけ公民館が用意することにしていました。しかし、回数を重ねるうちに気掛かりなことがおきました。というのは、弁当を持たない人が日につくようになったことです。その人たちに理由を尋ねますと「あねきに弁当頼みにくい」というのです。これでは、せつかくの「敬老」の趣旨が仇になりますので、次回から公民館で食事を用意することにしました。

またある時は、お昼に食べたいものは何かと聞いてみますと申し合わせたように皆が「煮しめを食べたい」と言います。どうしてかと尋ねると、今の若いお母さんたちは煮しめを作れないのだということです。お金をかけた豪華なおかずよりも素朴なものを喜ぶことを知り、甘さを厳しく戒められた思いましたが、今ではお年寄りの参加者は六十余名となり、お年寄りにとって楽しい集いの日となっています。(横越村公運審委員長)

(横越村公運審委員長)

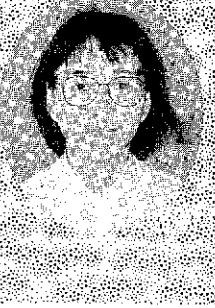
執筆者紹介

熊谷いみ子氏は新潟県東地区公民館の社会教育指導員で、経験年数6年目というキャリアの持ち主。同公民館を主軸にして管内の2分館を含めて、公民館事業に取り組むプロモーターとして、住民に信頼されている。

その実績を買われて、今年度の関東甲信越静公民館研究大会の分科会(家庭教育部会)に、発表者として日頃の実践の発表と問題提起をすることになっている。そこで、その実践発表の内容を主として、「家庭教育学級開設のツボどころ」を記してもらった。

# のツボどころ

## 熊谷いみ子



### 一、はじめに

当東地区公民館は、県都新潟市の東の中心部にあり、古くから栄えてきた沼垂地区を抱え、古い文化を持つ一方で、近くには大規模スーパーやデパートが賑わいをみせているという新旧混交の地帯にあります。

また近くには、複合施設(コミュニティセンター・女性センター・児童センター・青年の家)がある。人口七万二千人、世帯数二万六千世帯をサービスイリアにしている公民館です。

近年の核家族化、少子化といった家庭の変貌は、家庭教育に大きな混乱や困難を生じ、深刻な問題を投げかけていま

す。したがって、家庭教育力の回復が、親にも子どもにも重要な課題となっていることは、今更あらためて言うまでもないことです。そのことはまた、当然のことながら家庭の中の教育問題としてだけではなく、地域の教育力にかかわる問題でもあります。したがって、この問題解決のためには、公民館もまた重要な役割を担っているわけです。

このため、当新潟市においても、「家庭教育学級の充実」が全公民館の努力事項にあげられ、子どもの成長期に応じた各種の学級や講座などを開設しています。当公民館では、乳幼児期、新一年生期、児童期、思春期の家庭教育学級(講座)を開設し

ています。

それらの事業の中から「児童期セミナー」について、与えられたテーマ「家庭教育学級開設のツボどころ」に迫ることにします。

### 二、「児童期セミナー」の展開

「児童期セミナー」の事業は今年度の新規事業として開設したものです。実はこのセミナーを開設する必要を感じたのは、その前年度末(平成8年3月)に開設した「新一年生セミナー」に触発されたからでした。

つまり「新一年生セミナー」は、第一子を初めて小学校に入学させる親を対象にした講座です。初めてわが子を小学校へ入学させる親たちには、想像以上の不安や悩みを抱えていることが分かりました。その不安や悩みの解消のために、カウンセラーを講師に迎え、「児童期セミナー」の立案にあたって、具体的な問題を話し合った結果、一人ひとりの親の立場の違いや、問題の深刻さに深淺の差はあるものの親たちの抱えている問題の根はみな同じだということが分かりました。

今、子育てをしている人たちは、わが国の高度成長期の豊かな時代に育ち、それまでの昔ながらの子育てでは解決しきれない多様な価値観のなかに生きて

います。したがって子育てに對する溢れる程の情報の中にありながら、何を頼りにしていいのかと右往左往し、自信を失っているのが実態です。

そのことから、親自身が自分を振り返り、親である自分自身を十分に語り合える講座にできないものかと考えました。そして、講師カウンセラーと相談して出来上がったのが、この「児童期セミナー」です。

#### ◇第一のツボ

「親の学習の場であること」 「子どもを変えるには、親がまず変わらなければならぬ」ということを強調し、親の学習の場であることをこのセミナーの中心テーマにすることにしました。

したがって、学級開設案内のチラシに、「このセミナーは、子どもというより、親」にスポットをあてました。子育ての悩み、細かいことが気になって仕方がない……といったいろんな話を「しませんか!」(表1参照)と、親のためのセミナーだということをはっきり記しました。また、そのことをただ歌い文句にするだけでなしに、プログラムの中でも、「親自身の自分色に気づくことから」を初の学習内容として、その後子どもとの問題に移るようになって、「親と子」

表1  
新潟県東地区公民館

### 児童期セミナー

自分色とあなた色を大切に子どもを育てませんか! いじめ、不登校、自殺…子どもたちを巡る問題は、深刻な問題が一杯です。親として、心豊かにやさしさや思いやりを持った子に育ててほしいと願わずにはおられません。このセミナーは、子どもというより「親」にスポットをあてました子育ての悩み、細かいことが気になって仕方がない…いろんな話をしませんか? アドバイザーがついています。帰るときはかーい心になれますヨ

◇内容

- 5/10 親自身の自分色に気づくことから (金) カウンセラー 小柳 信子
- 5/17 親と子。今、自分の周りで起こっている事に気づく (金) カウンセラー 渡辺 和子
- 5/24 親と子。コミュニケーションの基本 (金) カウンセラー 渡辺 和子
- 5/31 親と子。振り返り (金) カウンセラー 小柳 信子
- 6/7 親と子。生活習慣、体の気づき、コミュニケーションから変える (金) カウンセラー 渡辺 和子



- ◇時間 午前10時~12時
- ◇会場 東地区公民館(蒲原町7-1)
- ◇対象 児童期の子を持つ親20人
- ◇参加費 300円(資料など)
- ◇申込み方法 電話で東地区公民館へ (☎241-4118)

# シリーズ 課題を追って

## 特集 家庭教育学級開設

### 新潟市東地区公民館 社会教育指導員

を取り上げて、親の自分色を失わないように配慮しました。

とかく、親たちは「自分とは子どもこの子だけは……」と子どもこの子だけに目を向けがちになり、子どものことに真剣にならざるを得ないほど、視野を狭くしていく傾向が強いことから、まず「親が変わらなければならぬ」という基本的な理念に立ったものです。

セミナーの終了の時の受講生の感想文を紹介します。

ア、親自身が自分を大事にすることが、人を大事にすることになるのがよく分かった。

イ、自分の心を元気にできてと

でも嬉しかった。

ウ、女性としてのライフスタイルや子どもの見方を変える必要を感じた。今までとは考えを変えて、自分を大事にしていきたい。

エ、子どものことで悩んでいて幼稚園の講演会や、保母さんに相談しても、表面的な納得で終わっていたが、自分を変えるためのサポートをする今回のセミナーの企画がとても有り難かった。

という感想文の中に親としての意識変革が始まりつつあることが僅かではあるが見て取れるように思われます。

◇第2のツボ

「親の仲間づくりの場」

公民館の公民館たるゆえんは仲間づくりにあるわけですから「児童期セミナー」においても親の仲間づくりが中心的な役割になるのは論をまたないところだと思います。そのために、学習方法に工夫を凝らしたことが、このセミナーを成功させた理由の第二と考えます。

いわゆる「承り学習」を排して、話し合いやワーク(作業)を入れて心と身体をリラックスさせるように努めました。中でもロールプレイング方式の学習を随所に取り入れたのが効果的でした。(表2参照)

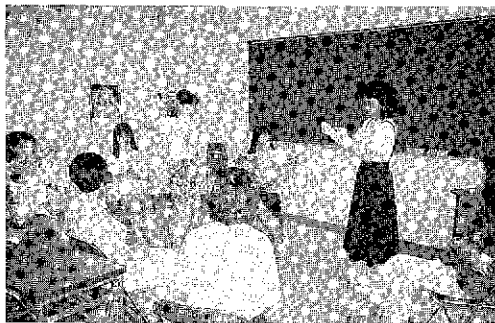
心の問題を相談するカウンセラーという専門家を講師に迎えることができたこともあって、同じ悩みや疑問を持った親たちが、共感を味わう学習活動ができました。単に学習の知的理解を深めるだけの仲間意識にとどまらず、受講生同士が、お互いに自分を変えてくれる仲間としての仲間づくりで成果を示した

ことでもあります。その結果、学級運営における運営委員会の設置や学級生相互の協力などの日常的仲間づくりにも一層の成果をみることもできたのは当然のことです。

◇第3のツボ

「地域の教育力の向上」

率直に申しますと、この第三のツボについては、まだ十分な



ロールプレイング

検証をしていないのですが、重要なツボでありましょう。

「地域の教育力」への具体的な手がかりは、公民館を取り巻く関係機関や団体と連携しつやがて全世帯にひろげようとすることです。

そう考える根拠があります。東地区公民館においては、児童期セミナーに限らず家庭教育学級の事業に取り組むにあたって「地域交流」を重要なポイントにしていることです。管内に二つの市立幼稚園があり、二つの小学校のほか中学校、高等学校があります。これらの幼稚園には母の会があり、各学校にはPTAがあります。育成会や町内会との結びつきもありますのでその点に期待して、「児童期セミナー」でも今後の取り組みで考えていくつもりです。

三、おわりに

以上家庭教育学級開設のツボどころを三点指摘しましたが、これだけで十分とはいえないかも知れません。たとえば、母親が自分を変えようとするには、父親の理解も必要になりますから、父親も含めた家庭教育学級の必要性が生じてきます。やがて、第四のツボどころとしてこのことが指摘されるのも遠い将来のことではないでしょう。

表2

「ご存じでしょうか!」

ロールプレイングとは? (役割演技法という学習方法の一つです。)

☆☆☆☆

【状況設定】

朝、学校へ行く前の着替えをめぐって、母親と子供と父親の三人の会話を再現する。(ここでは無言劇・言葉を使わずにキャラクターで表現、役は受講生がなる)

母親 タンスから子供の洋服を出して「これを着なさい」というしぐさをする。

子供 その洋服を投げつけて、別の洋服をタンスから引っぱりだして着ようとする。

母親 それをさげきって、「今日はお天気が悪そうだからこっちの洋服にしろなさい」と前に出した洋服を着させようとする。

子供 いやいやをして、自分の着たいものを手に取る。

父親 言い争う様子を演じる――新聞を見ながら「子供が好きにさせればいいじゃないか!」というしぐさをする。

「きわめて不機嫌そうに演じる!」

# 実践記録シリーズ(11)

## 集落を結ぶ「花街道」づくり

白根市茨曾根地区公民館

### 一、はじめに

白根市茨曾根は、信濃川と中ノ口川に囲まれ、かつては低湿地帯だったが圃場整備できれいに区画整理がなされ、乾田化した今では満開の桃の花が春を告げる郷である。

当茨曾根地区公民館では、かねてから「むらおこし」に取り組んできた。先人が汗して土づくりに取り組んだ活動を第一次のむらおこしと呼ぶならば、第二次の「むらおこし」は、各種の行事の活性化はもちろん、児童とお年寄りの交流会とか、伝承文化の発掘をし、それを文集にまとめ「あつたてんがのう、いばらそね」として発行したりしたことである。

そして、いま公民館が実践に取り組んでいるのが第三次のむらおこしとしての「花街道」づくりである。

### 二、「花街道」づくりの着想

時代の変化は、我々の生活を便利にしてくれたが、心の潤いを希薄にしまった。その希

薄になった心の潤いを取り戻すことを第三次のむらおこしにしようと考えた。

茨曾根地区は、春を告げる桃や梨の花が毎年満開になる。私もはこの花を眺めるとなぜか心の安らぎをおぼえ、この地域に住む幸せを感じ、誇りをもつのである。このことから、「心の古さとづくり」をむらおこしのテーマとした。

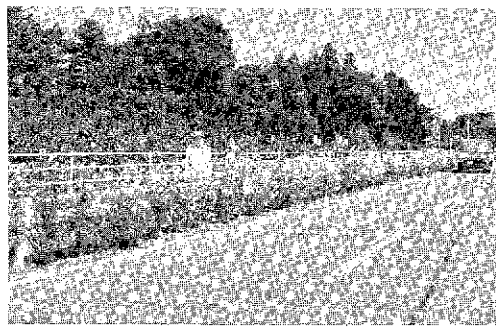
### 三、試行錯誤の道程

#### 1、苦難のスタート

平成六年度、公民館での「むらおこし」についての会議のおり、話はあるの美しく咲く桃や梨の花に及んだ。そして、四季を通じて美しい花を咲かせようではないかと相談がまとまった。早速「花街道」づくりに取り組むことになった。

地区の北端の東萱場から南部の清水までの四軒をコスモスの花で飾り、花の少ない秋を彩ろうというものであった。

平成六年は、まずコスモスの育苗一万本からスタートした。



移植から管理までを地区の老人会やゲートボール会員の皆さんの善意の奉仕によって進められた。しかし、この年は大変な猛暑に襲われた夏であった。館長としての私は、このコスモスを枯らすことは「むらおこし」の挫折を意味することだと思い、朝の四時と夕方の七時の一日二回の水やりを続けた。やがて地

域の人々の善意と熱意を喚起することとなり、協力してくれる人が相次いであらわれた。2、「花街道」づくりがもたらしたもの  
先にふれたように、育苗から移植、管理までほとんど全部をお年寄りやゲートボール会員の善意のボランティア活動によるものであった。この活動は、お

年寄りに対しては地域の方々の感謝と尊敬の念で迎えられることになり、生きがいと力を与えるものとなった。また、人々には心のゆとりと善意の心と呼び戻してくれた。

また、「花街道」沿いの教箇所に掲示板を設置して、地区俳句会の俳句や、花を主題にして撮影した写真を掲示したり、小学生の写生画の作品を展示するなどして、住民の方々に花いっぱい運動を身近に感じてもらうようになった。

### 3、花の障害

「花街道」づくりの活動が活発に展開し定着した頃になって一つの障害が発生した。コスモスは花の咲く頃になると、人の身丈ほどになるので、大きく育ったコスモスが壁になり視界を遮断し交通安全の障害になることであった。

その対応を真剣に相談した。せっかくなので「心の古さとづくり」をと力を入れてきたのにと、悩んだ結果、見通しの悪い箇所のコスモスを半分ほど刈り取ることにした。

### 4、花の選定

平成7年度は、花の選定で失敗しないようにと次の観点で選定した。

① 交通の障害にならないように花丈を考える。

② 春、夏、秋それぞれに花を咲かせたい。

そのため、コスモスは千本に減らし、代わって松葉菊五千本を植えた。コスモスは数を減らしたものの、やはり大きく育ち、少しの風でも倒れたり、昨年と変わらない交通問題にもなった。松葉菊はこの年の寒波で全滅してしまった。

### 5、知力、気力による開花

数々の失敗を繰り返した結果平成八年度には次のよう観点で花を決めた。

① 球根で増殖できるもの。

② 雑草に強く、繁殖力旺盛なもの。

このことを公民館だよりで呼び掛けたところ、盆花千球、彼岸花七千球、水仙一万球の善意の球根が集まった。そして今は盆花、彼岸花の移植が終わっている。地域の方々の善意はついに四軒の道を花街道にした。

### 四、万感の思い、今ここに

小さなむらおこしの発想が、お年寄りに生きがいを与え、人々に善意と心のゆとりを蘇らせた。寄せられた地域の方々の善意、特に老人会、ゲートボール会員の皆様のボランティア活動には言葉にならない感謝と感動を覚えるのである。

〔茨曾根地区公民館長 関根 喜八郎 記〕

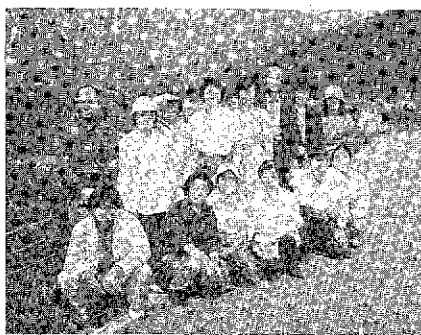
# サークル交流

絵の世界に触れて

三条市中央公民館  
水彩画教室

水彩画教室は、昨年四月に開講したサークルで、最初は、十五人でスタートした。絵には全く素人の私達が宇賀治先生の指導を得て絵筆を握れるようになったのも不思議な因である。これも先生の人柄に引かれてのことと思う。

当サークルは、講師を中心に和気あいあいの内に研さんを積んでいる。毎月三回木曜日の夜七時から九時までが受講時間で、時には写生に出掛けている。昨年は七月に下田村、十月には



加茂市から粟岳、十一月には岩室村の夏井へそれぞれ十名程が参加している。

今年は、更に十五人が入会し、会員は、老若男女で、中年以上が多い。今年も五月二十六日に八海山の写生会に、市のマイクロボスを利用し、十五名が参加、大自然の中で延び延びと取り組み、時には、先生に手を加えてもらい上手になった気分を描いている。

当サークルの目的は、自分自身の表現力に向けて一所懸命、楽しく、絵を描くことで、仲間を作り、市展、県展へと挑戦したいと思っている。

(堀内辰雄 記)

小さな針の芸術家  
リサイクルで楽しい作品づくり

パッチワーク研修会

私達は、布を使ってバック、クッション、タペストリー等を作っています。この会は誕生して日も浅く会員も十一名と小規模です。月二回町生涯学習センターで午後約二時間の活動です。子供達の古着の一部、母の思い出の着物、捨ててしまおう断ち残り布、これらを利用して型



や配色等工夫をしながら作品を作り上げてゆきます。手仕事ですので時間がかかり活動日に出る上は、自分でできず自宅での作業となります。活動日は立として技法の工夫、縫い方、デザイン、配色といったことを話し合い自己の技術の向上に勤めています。年一回町の文化祭に展示することを目標に一針一針縫っています。小さな端布から予想以上の作品が出来上がった時は、大きな喜びになります。布に対する愛着心と手仕事の好きな人達が集い、時には主婦の知恵交換の場と変わる時もあります。まだまだ幼ないサークルですが互に切磋琢磨し技術の向上をかりたいと思っております。(川口町パッチワーク研修会 代表 山田智 記)

## 妙高高原町公民館

主任 大野敏宏 氏

議会議務局から公民館に配属されて三年目、日々公民館活動に邁進している。

当町では、平成七年度から三年計画で関川関所跡整備事業に教育課が取り組んでおり、大変忙しいなか、一人で公民館事業全般をこなしている。

一見柔和な感じのなかにも理路整然とした企画力・クリンな頭脳、行動力は抜群で



公民館職員としての素質が十分な彼には、更にキャリアを積むことで、なお一層の飛躍が期待される。

(妙高高原町公民館長 宮下智道 記)

## 素顔拝見

### 栃尾市公民館主事

小浦絹代 氏

ついに、この4月の人事異動で、市民課の窓口から、うら若き天女が舞い降りてまいりました。人事係の皆さんありがとう。彼女は趣味は生け花(草月流)と読書とのことで、図書室の勤務を心から喜んでいようです。

ただ、小生は図書室の本に虫がつくのは構いませんが、当館のアイドルに悪い虫がつくことがとても心配です。明るく快活な性格に妖精のようなあどけなさを持ち合わせた



「絹代さん」が毎朝、愛猫ナナに見送られ、ブルーのシビックで颯爽と出勤する姿を拝ませていただく度に、公民館の花として咲き続けて欲しいと思います。それから、大切なことを書き忘れるところでした。もう一つ趣味が……いや、これは彼女の将来のために差し控えていただきますが、「新潟競馬場」で見かけたら声を掛けてやってください。

(栃尾市公民館 多田好一 記)

五百号記念特集号

『やまなみ』を刊行

山脈(やまなみ)短歌会では月刊の『やまなみ』五百号を記念した特集号を刊行した。同短歌会は、牧村公民館に事務局をおく同人で、同村文化協会の中核的な活躍をしているサークルである。

五百号ともなれば、四十年を超えるいきの長いもの。その長命のサークル活動に敬意を表するとともに、これからの活躍を祈りたい。B5判、30頁。連絡は東頸城郡牧村公民館内。

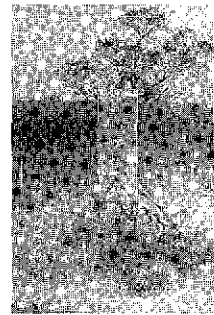
これまでの、平常の月は、半紙袋としながら、会員の投稿句がびっしり掲載されていて、寸評もある充実した歌集である。



潟のむかしばなし

埋もれ木

福島潟ふしぎ発見塾実行委員会



福島潟ふしぎ発見塾実行委員会(実行委員長渡辺正之)によって、潟の昔話「埋もれ木」が行された。

県補助事業の「生涯学習大学

短歌集

雪えくぼ

山本葉子著  
雪珠短歌会発行

紹介書



著者山本葉子氏は、東頸城郡牧村の人。雪深い山村で商店を営む家の主婦として、日々の暮らしの中で詠み続けてきた短歌を歌集にしたものである。

長女を一歳の時、気管支炎で亡くした悲しみから、次のように詠んだのが短歌を作り始めたきっかけの由。木枯らしの吹きつる夜半 咳込みて 眠れぬ吾子に 大森を眺く

歌集には六〇九首が掲載されている。

あとがきによれば、「…最近になって、こつこつと歩んできた自分自身の足跡を、食しなくとも懸命にたどった一人史として纏め、子や孫たちにも理解してほしいと思うようになり、歌集を作る決心をしました。」とある。

B5判254頁、平成8年6月20日発行  
定価三〇〇〇円  
新潟県東頸城郡牧村 田島五七〇一

表紙解説  
魚野川  
鮎釣り解禁  
7月7日、魚野川では、待ちに待った鮎の友釣り解禁になりました。これから暑さが増すと共に、県内外から多くの釣師が集ります。  
塩沢町公民館

発行所 新潟県公民館連合会  
〒951  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025) 224-6073】  
発行人 会長 今井昭友  
編集人 事務局長 上村捨二郎  
【定価1部150円 年共・年極1,800円】

システム」の一環として、豊栄市、豊浦町、笹神村の三市町村による広域学習圏事業として開設した「福島潟ふしぎ発見塾」の一年の成果を集大成したものとえました。福島潟の物語と違い、玉子箱の煙の向こうに、興味深い自然や史実が見え」と巻頭言に記されている。冊子の内容の第一部では、福島潟現況ウォッチング、潟の地形と成立、開拓の歴史、潟周辺の特徴的生活風俗について。第二部では、第一部の学習の発展として、残存する昔話、伝説、古老の話、往時の生活風俗などを採話して纏めたもので、

◆県公民館大会が無事終了しました。主管の栃尾市は関係者のご尽力によるものです。記念大会の感想・印象をお寄せください。(上村記)

五十余編が収録されている。  
B5判108頁  
連絡先 豊栄市中央公民館  
恵贈資料紹介  
磐梯青年の家紹介ビデオ  
国立磐梯青年の家の利用紹介ビデオ(夏季用)が贈られてきました。  
青年の家施設内外の楽しい利用風景が紹介されています。視聴時間は十分程度にまとめられています。  
ご一報ください。  
あとがき